

授業改善等に関する報告書（2019年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|--------------|--------|--|
| 漢文学基礎講読 b | 田中 靖彦 | たいへん高評価をいただき、嬉しく思います。難易度や挙手による発言についていただいたご指摘については、今後の授業で改善に努めます。ご自身の学力の成長を実感したという意見を多くいただけたのは望外の喜びです。今後も大いに学び、学力を伸ばしていきましょう。 |
| 近代現代文学演習 f 2 | 河野 龍也 | 卒業論文の執筆に必要な調査のスキルが身につけられる授業を目指しました。3回の課題は大変だったと思いますが、効果を実感している学生が多かったようです。ぜひ卒論に経験を活かしてください。 |
| 特殊演習 2 | 田中 靖彦 | 概ね高評価をいただき、嬉しく思います。受講生全員が無事に卒論を提出できたのは、ゼミ生のみなさまの努力の成果です。お疲れ様でした。 |
| 国語学概論 b | 三好 伸芳 | 本科目では、「日本語および言語一般に対する分析的な感覚を身につける」ことにより、さまざまな日本語の特徴を「自分自身で説明できるようになること」を目指している。学期末に実施した試験においては、実際に具体的な日本語の事例についての説明を求める問題を設定したが、学生からは「日本語の類似表現の使い分けについて答えられる力が身についた」との回答があり、本科目の目標は一定程度達成できたと考える。一方で、アンケート結果からは、講義内容を少し難解に感じる受講者もいることが分かる。後期は資料の引用が減り、抽象的な話が増える傾向にあるので、可能な限り図版を使用するなど、より分かりやすい講義となるよう心がけた。 |
| 特殊演習 2 | 池田 三枝子 | 授業中に回答時間を設定できなかったため、回答数が少なく、全体に対するコメントにはならないかもしれませんが、ゼミ生の皆さん全員が卒論執筆を通して自身の成長を実感できたのではないかと思います。毎日図書館に通い、励まし合って論文を完成させる様子を拝見していて、とてもまとまりのある良いゼミだと思いました。 |
| 国文学概論 b | 棚田 輝嘉 | 授業評価、ありがとうございます。 全体として、⑤より④の方が多という結果ですので、より満足度を上げる方法について、さらに検討していきます。 特に、進む速度、と、説明の分かりやすさに、注意していこうと思います。 |
| 国語学概論 b | 湯浅 茂雄 | 平均点以上の評価をいただき、ありがとうございました。日本語に興味を持っていただいたことが何よりでした。足りない点は更に努力、改善していきたいと思っています。 |
| 特殊演習 2 | 棚田 輝嘉 | 評価者0ですので、お返事というわけにはいきませんが、より、研究により積極的になってもらえるような方法を、今後も探し続けていこうと思います。 |
| 日本文学史 b | 河野 龍也 | 近代文学史の通史を、10回の小テストを通じて学びました。小テストの課題は重要なものを選んでいきます。大変だったと思いますが、努力したぶん実力になっています。詩歌・演劇についても、進んで学習してください。 |
| 国語学演習 d 2 | 福嶋 健伸 | 今回は、かなり実験的な授業を行ったのだが、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の当該科目平均は、当該区分平均・全体平均を上回っており、概ね成功したといえる。 「堅苦しい源氏物語を、ユーモアを交えて訳すことで、原作を読み込む力、またそれを発展させる力がついた。」「文を自分の言葉で表す力がついた」等の肯定的なコメントが多く寄せられていることも、授業がうまくいったことの証拠といえる。 |
| 国語学演習 c 2 | 湯浅 茂雄 | 演習の内容は簡単なものではなかったと思いますが、皆さんは良く努力してくれました。今後も授業改善に努めてまいります。 |
| 中国文学哲学演習 d 2 | 田中 靖彦 | 概ね高評価をいただき、嬉しく思います。多くの受講生の方がまじめに取り組んで下さいました。本授業での成果を今後も活用していただきたいと思います。 |
| 漢文学基礎講読 b | 田中 靖彦 | 概ね高評価をいただき、嬉しく思います。もっと進行速度が速いほうがよいという意見と、漢文は苦手で難しいという意見をいただきました。両方に対応するのは難しいですが、鋭意努力してまいります。 |
| 国語学研究 f | 吉田 雅子 | アンケートへの回答ありがとうございます。今後の授業運営の参考にします。前期の国語学研究 e に引き続き、熱心に取り組む受講生が多く、受講生同士で学び合うことができる授業になったと思います。学んだことを今後に活かしていってほしいと思っています。 |

[2019（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|--------------|------------|--|
| 日本語文法論 b | 福嶋 健伸 | 「文法の確認や細かい部分を理解することが出来た」「高校の時にあいまいだったところがはっきりわかってすっきりした。」等の肯定的なコメントがほとんどであり、概ね、授業はうまくいったと思われる。 |
| 中国文学史 b | 秋谷 幸治 | 漢詩の基礎知識を身につけることを目標に授業を進めました。様々な教材や資料を用意し、漢詩のおもしろさを実感してもらうために工夫をしながら授業をしました。アンケートでは「漢詩に親しむことができた」などのコメントをもらい、授業のねらいは概ね達成できたと考えています。できれば、調査や発表の時間なども設けたかったですが、これらは来年度の課題にしたいと思います。来年度もぜひとも漢文学や中国文学関係の授業もとって下さい。 |
| 中世近世文学演習 f 2 | 佐藤 悟 | 発表者のパワーポイント等に更なる指導を加えることにします。 |
| 特殊演習 2 | 湯浅 茂雄 | 高評価をありがとうございました。皆さんの卒論のレベルも高いものでした。今後も授業改善に努めてまいります。 |
| 漢文学基礎講読 b | 田中 靖彦 | 授業内容やテストが難しいと感じた方もおられる一方、三国時代の歴史や、高校までとは違う漢文の授業に対し深い興味を持ってたという意見もいただきました。いただいたご意見をもとに、さらに良い授業が実施できるよう努めてまいります。 |
| 中国文学哲学研究 d | 秋谷 幸治 | 中国の古小説をじっくり味わい、中国の伝統文化を深く理解することを目標に授業を進めました。後期は『三国志演義』を読みましたが、章回小説（連続テレビドラマ形式の小説）のおもしろさを実感してもらうために工夫をしながら授業をしました。また小説を精読する練習として『2分間ミステリ』も読み、みんなで謎解きをしました。アンケートでは「三国志演義の内容もとてもおもしろく、三国志についてさらに興味が深まった」などのコメントをもらい、授業の目標は概ね達成できたと考えています。できれば、グループワークの時間なども設けたかったですが、これらは来年度の課題にしたいと思います。来年度もぜひとも漢文学や中国文学関係の授業もとって下さい。 |
| 近現代文学史 b | 河野 龍也 | 近代文学の分析方法を学びましたが、古典文学の研究にも応用できる点もあつたと思います。シートのような問いを自分でも立てられるよう、しっかり見直してください。 |
| 近代現代文学演習 d 2 | ブルナ, ルカーシュ | 前期は有島武郎の短編、後期は長編「或る女」を分析しました。前期と比べると、後期の内容が難しく、三か月もかけて同じ作品を読みつつけるという作業も単調であつたかもしれませんが、一人ひとりの発表の内容はおおむね面白く、ときに活発なディスカッションができたと思います。みなさん、これからも、臆することなく、積極的に自分の意見を述べるようにしてください。 |
| 特殊演習 2 | 佐藤 悟 | お一方なので、何も記さないことにします。 |
| 特殊演習 2 | ブルナ, ルカーシュ | 最初はгүйぶん心配していましたが、結局みなさん無事に卒業論文を書き上げることができて、ほっとしました。4年間、お疲れ様でした。 |
| 特殊演習 2 | 河野 龍也 | 卒業論文は個人の取り組みですが、他の学生の発表を聞いて得るところも大きかったと思います。忙しいなかみなよく頑張りました。 |
| 国語学概論 b | 福嶋 健伸 | 「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の当該科目平均は、当該区分平均・全体平均を上回っており、概ね成功したといえる。「授業が毎時間面白くてとても楽しい授業でした。先生の授業を来年度も取りたいと強く思いました。1年間お世話になりました。」「知らないことだらけの教科だったので学ぶことが多かった」「この授業を受ける前と後では考え方が変わったし、教養が身についた。」「自分で考えて答えを出す力を身につけることができました。」「英語の効果的な勉強の仕方など、初回の授業から、普段活用出来ることをしれて良かったです。日本語学について全く無知であった私が、より知ることが出来て独学でも学んでみたいなと思いました。」等、肯定的なコメントばかりだったことも、授業がうまくいったことの証拠といえる。 |
| 国文学概論 b | 佐藤 悟 | コメントは特にありません。 |
| 上代文学史 b | 池田 三枝子 | 1時限の授業で交通遅延が多かったせいか、最初の30分程度での出席率が極めて低く、毎回のように「前回のまとめ」に時間を割かなければならず、授業の進捗に影響が出ていました。次年度以降は単元ごとのまとめを文書化する等の工夫が必要だと考えています。 |

[2019 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|---------------------|------------|--|
| 近現代文学基礎演習 2 | 河野 龍也 | 貴重な資料を使ってさまざまな人の筆跡に触れ、崩し字を読む能力にも応用の幅ができたと思います。実際に手書きの文字を書く機会が少ない現代では、学生にとっても書く練習になったと思います。翻刻を見直し、美しい言葉を自分のものにしてください。 |
| Japanese Literature | ブルナ, ルカーシュ | 日本語をほとんど使わない英語の授業で、国文学科の学生にとってはずいぶんハードルが高い、と心配していましたが、じっさいには、学生ひとりひとりが積極的に授業に参加し、毎回発言してくれましたので、個人的にはとても楽しい、面白い授業でした。最後のプレゼンテーションもよくできていました。 |
| 国語史 b | 福嶋 健伸 | 歴史的な言語学というのは、教えるのが難しい分野であるが、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の当該科目平均 (4.57) は、当該区分平均 (4.22) ・全体平均 (4.19) を上回っており、概ね成功したといえる。「授業の終わりに質問したことを次の授業で答えてくれたのが嬉しかった。さらに日本語の歴史について興味を持った。」「近現代の小説などを読む時に表現をきにするようになった。」「言葉の変遷を学べた事で小さい頃から持っていた疑問が解消されるなど知っていて損をしない知識が身についた。」等の肯定的なコメントが多く寄せられていることも、授業がうまくいったことの証拠といえる。ただ、100名以上の履修者がいるクラスであり、細かい点まで目が及ばなかった。特にノートを取りたがらない学生に対して、もう少し、丁寧な説明をするべきであったと思う。 |
| 仮名書法 2 | 伊藤 文生 | 受講生全員概ねまじめに取り組んでいたと言える。授業最終回に提出していただいた各自の自己評価および感想を見ると、おおよそ以下のとおり。「異体仮名を覚え形を理解した上で流れを意識して書写することができるようになった。異体仮名を覚えたことにより、他の授業内で使われる資料の文字や展示会の作品の文字を読むことが以前より可能になり、読むペースが上がった。それに加えて筆の使い方(文字の流れでの動かし方?)の感覚がつかめて漢字書法の草書を書く際に役立てることができるようになった」「小・中・高ではあまり書かない文字や小筆を使い、様々な仮名を覚えながら授業を受けられ、普段静かに文字を書く時間、集中する時間がないからこそ落ちついて楽しみながら無になれる授業で面白い」「異体仮名の習得をすることができた。筆の使い方、姿勢など、書道に必要な知識を身につけることができた。毎回の小テストで理解確認ができるので、良かった」「毛筆の入り、はらいが目標とする細さや力加減で書けるようになり、以前は知らなかった変体仮名も覚えられた。新出の変体仮名で見分け方がわからないもの、書き順が不明なものは、コメントを通して先生に質問し、解決した」「1年次で習得した変体仮名を定着させることができ、読むだけでなく書き、和歌の内容に触れることで日本の文化にも触れられるので良い」「変体仮名を覚え、辞書などがなくても、大半をよむことができるようになった。多くの仮名に触れることができ、文化的な生活につながる授業である」「変体仮名がより多く読めるようになった。多くの仮名作品に触れることができる」。以上。 問題点としては、仮名に関する基本的な知識についてまだ不十分なところがあり、より丁寧に個別に説明する機会を設ける必要性を感じた。また、基本的な練習量がまだまだ足りない。姿勢や用具の扱い方などについても正しく指摘して、学修効果を高めるよう心がけたい。 |
| 上代中古文学研究 h | 山口 一樹 | アンケートの結果から、本科目の到達目標はおおむね達成できていたと考えられる。アンケートの項目の中では、Ⅱの8「双方向授業(質問のしやすさ等を含む)等の工夫がされていきましたか?」で他の項目より低い評価を受けた。授業ではコメントシートを配布し履修者の質問を募っているが、後期の授業期間中は解説の時間を確保するために質問に回答する時間を十分に設けることができていなかったように思われる。今後は授業内容を綿密に計画したうえで、質問に回答する時間を十分に取っていきたい。 |

[2019 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|--------------|------------|--|
| 仮名書法 2 | 伊藤 文生 | <p>受講生全員概ねまじめに取り組んでいたと言える。授業最終回に提出していただいた各自の自己評価および感想を見ると、およそ以下のとおり。 「異体仮名を覚え形を理解した上で流れを意識して書写することができるようになった。異体仮名を覚えたことにより、他の授業内で使われる資料の文字や展示会の作品の文字を読むことが以前より可能になり、読むペースが上がった。それに加えて筆の使い方（文字の流れでの動かし方？）の感覚がつかめて漢字書法の草書を書く際に役立てることができるようになった」 「小・中・高ではあまり書かない文字や小筆を使い、様々な仮名を覚えながら授業を受けられ、普段静かに文字を書く時間、集中する時間がないからこそ落ちついて楽しみながら無になれる授業で面白い」「異体仮名の習得をすることができた。筆の使い方、姿勢など、書道に必要な知識を身につけることができた。毎回の小テストで理解確認ができるので、良かった」「毛筆の入り、はらいが目標とする細さや力加減で書けるようになり、以前は知らなかった変体仮名も覚えられた。新出の変体仮名で見分け方がわからないもの、書き順が不明なものは、コメントを通して先生に質問し、解決した」 「1年次で習得した変体仮名を定着させることができ、読むだけでなく書き、和歌の内容に触れることで日本の文化にも触れられるので良い」「変体仮名を覚え、辞書などがなくても、大半をよむことができるようになった。多くの仮名に触れることができ、文化的な生活につながる授業である」「変体仮名がより多く読めるようになった。多くの仮名作品に触れることができ、歌なども学ぶことができる」。 以上。 問題点としては、仮名に関する基本的な知識についてまだ不十分なところがあり、より丁寧に個別に説明する機会を設ける必要性を感じた。また、基本的な練習量がまだまだ足りない。姿勢や用具の扱い方などについても正しく指摘して、学修効果を高めるよう心がけたい。</p> |
| 上代中古文学演習 e 2 | 山口 一樹 | <p>アンケートの結果から、本科目の到達目標はおおむね達成できていたと考えられる。アンケート項目のうち、Ⅱの9「板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか？」では他の項目より低い評価を受けた。授業内において教員からは工具資料などを説明する資料を配布したが、履修者にとって使いやすい形を改めて検討したいと思う。また履修者の配布する発表資料についても、ほかの履修者からみて分かりやすい形式になるようアドバイスしていきたい。</p> |
| 中古文学基礎演習 2 | 山口 一樹 | <p>アンケート結果から本科目の到達目標はおおむね達成できていたと考えられる。アンケート項目のうち、Ⅱの6「各回の授業の進むスピードは適切でしたか？」では他項目よりも低い評価を受けた。今期はパソコンソフトのほか古典研究に必要なデータベースの使用方法について解説を行った。履修者にとっては初めて学ぶ内容であったため、より時間をかけて丁寧な解説を行う必要があったかもしれない。今後は解説のほか実習の時間も多く設けるなど対策していきたい。</p> |
| 古典文学基礎講読 b | 越後 敬子 | <p>前期に学んだ変体仮名の解読能力をもとに、『おくのほそ道』の成り立ちについて考える授業でした。受講生全員に発表してもらいましたが、よく学習していたと思います。試験に関して言えば、設問で問われている内容を十分に理解して解答する必要があります。自分で思ったような成績が残せなかった学生さんは、その点が不十分だったのだと思います。</p> |
| 近現代文学史 b | 井原 あや | <p>本授業は、近現代の〈文学史〉のなかでも特に1945年～1950年頃に発表された小説が描き出した人物や出来事について、検閲・闇市など当時の社会状況やジェンダーの問題をふまえて分析することを目指した。 アンケート結果を確認すると、自由記述欄も含め概ね良好な回答が得られたので、授業目的や問題意識は受講者と達成・共有することができたと思われる。授業では、小説が発表された当時の状況を理解できるよう、出来事をまとめた年表や当時の新聞記事などをまとめたプリントを配布したほか、映像資料も用いて受講者の理解が深まる授業となるよう心掛けたが、そうした授業作りが、自由記述欄の今まで知らなかった／考えてこなかった戦後の文学史に関して理解が深まった等の意見に反映されているように思う。今後も受講者たちの興味関心に沿いつつ、自ら考え、学ぶ意欲を伸ばす授業作りを行いたい。 当時の資料と照らし合わせながら、その時代のキーワードともいえる人物や出来事が小説のなかでどのように描かれているのか、どのような意味を持っていたのかを検討する授業でした。受講者の皆さんにとっては馴染みのない小説もあったと思いますが、意欲的に取り組む方が多く、私自身大変勉強になりました。後期の間、本当にありがとうございました。</p> |
| 近代現代文学研究 f | ブルナ, ルカーシュ | <p>授業の最終回はウィルス性胃腸炎のため休講にしてしまい、その結果、後期の全体のまとめがないまま授業が終わってしまったことがとても残念です。大人数の授業で、毎回学生の意見を聞く時間がありませんでしたが、海外における日本文化、文学の受容をテーマとした授業の内容を聞いて面白い発見がひとつぐらいあったのではないかと思います。</p> |

[2019（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|-------------|------------|---|
| 近代文学基礎講読b | ブルナ, ルカーシュ | <p>授業の最終回はウィルス性胃腸炎のため休講にしてしまい、その結果、後期の全体のもまとめがないまま授業が終わってしまったことがとても残念です。今回は学生のミニ発表を中心に授業を進めてきましたが、皆さんが積極的に調査の結果や作品の分析を説明し、とても刺激的な内容でした。作品の解釈力だけではなく、プレゼンテーションのスキルを鍛える、いい練習になったのではないかと思います。</p> |
| 近代現代文学研究h | 井原 あや | <p>本授業は、作家・太宰治の作家表象および小説について、〈太宰神話〉と小説の関係、近代文学とジェンダーの関係などをふまえて分析することを旨としたものである。</p> <p>アンケート結果を確認すると、授業全体および自由記述欄も含め、概ね良好な回答が得られたので、シラバスで示した目的や到達度は受講者と共有・達成できたと思われる。授業では受講者の理解が深まるよう、先行論文や参考文献のほか、それらをふまえた読解・分析のポイントをまとめたプリントを配布し、映像資料も配付プリントをもとに分析したが、そうした授業作りが自由記述欄の「文学が映像化されるとき傾向やジェンダーの見えにくい構図を学んだ」「あらゆる観点から物語を読むことや、歴史的背景やジェンダーと物語の複雑な関わりを知ること」ができたといった意見に繋がったものと思われる。今後も、受講者の興味関心に沿いつつ、受講者自身が考え・学ぶことの出来る授業をつくることを目指したい。</p> <p>一方で、自由記述欄に、教員の個人的な解釈が含まれているのではといった意見もあったので大いに反省し、今後の課題としたい。授業では、そうした個人的な解釈にならないよう、読解・分析の前に先行論文や参考文献を多数示した上で分析を行ったが、今後はより丁寧な説明を心掛けたい。</p> <p>作家・太宰治が映像化される際の作家表象、およびその小説をジェンダーの視点を用いて考える授業となりました。途中、グループディスカッション等も取り入れましたが、皆さんが意見を出し合い、互いの意見を聞き合う姿勢は、私自身大変勉強になりました。1年生の時に授業を担当した時にも思いましたが、意欲的に授業に取り組む方が多く、皆さんとともに私も勉強しながら進める授業でした。後期の間、本当にありがとうございました。</p> |
| 近代現代文学演習e 2 | 棚田 輝嘉 | <p>おおむね、高い評価をいただき、ほっとしています。</p> <p>ただ、どのくらい理解できたか、と、自己評価について④が最多であったことが気になっています。</p> <p>まず、私自身の説明の仕方をより分かりやすくし、同時に、皆さんを大いにほめて、より高い自己評価を出していただきます。それだけの実力の向上は、間違いなくしていますよ。謙遜は必要ありません。</p> |
| 上代中古文学演習d 2 | 池田 三枝子 | <p>予習復習時間が1時間に満たない学生が3名ほどいるのが気がかかるそうです。発表資料の作成やレポート作成については皆さんそれなりに時間をかけていると思いますが、自分以外の学生が発表するときにもある程度の予習をしないと、討論の時に自信をもって発言することができません。次年度からは予習がやりやすくなるように資料を工夫しようと思います。</p> |
| 特殊演習 2 | 福嶋 健伸 | <p>言語学というのは、論文の書き方を教えるのが難しい分野であるが、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の当該科目平均（4.75）は、当該区分平均（4.22）・全体平均（4.19）を上回っており、概ね成功したといえる。「授業とともに卒論を進め、人の意見を取り入れながら取り組めたので、課題など溜めがちな私には助かったしよりよいものを作ろうと努力できました。」「他人の発表に対する視点や意見が様々で、とても参考になった。」「面白い研究ができた」「わからないところをしっかりと教えていただけたのでしっかり自分の論文を理解することができた」等、肯定的なコメントばかりだったことも、授業がうまくいったことの証拠といえる。</p> |